



令和5年度第3回 香臨技理事会議事録

日 時 ; 2023年9月26日(火) 19:00 ~ 21:00
場 所 ; Teams 会議
出 席 者 ; 宮川朱美(会長)、松村孝雄(副会長)、長町健一(副会長)、太田安彦((事務局長)、
小原浩司(経理部長)、香西宣秀(学術部長)、小林万代(広報部長)、森本弘美(福祉部長)、
篠原由美子、高水竜一、福田智、藤村一成、十川直美、中澤留美(以上理事)、多田達史(監事)、
多田亜由(事務局) (順不同)
欠 席 者 ; 木内洋之、横内美和子(監事)
司 会 ; 宮川朱美
書 記 ; 太田安彦

I. 審議事項

議事1. 入会・退会者の承認について

〈太田事務局長より〉

* 前回の理事以降退会者はいない。日臨技申請中を含め入会申請者は3名いるので承認をお願いしたい。入会が承認されれば総会員数が729名になる。

〈意見交換〉

宮川会長より

* 日臨技の会員が8月末で7万人を超えた。

〈決定事項〉

・ 入会申請者3名の入会が承認された。

議事2. タスク・シフト / シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について

〈松村副会長より〉

* 12月17日開催の講習会申込者は定員に達した。

* 現在、Web講習履修済みの人は28名、履修中の人は70名である。今年度にもう1回、2月あたりに開催したい。

* ただし、Web講習履修済みの人数が伸びなければ開催が危ぶまれるため、理事は所属施設または知り合いの未受講者に対し受講推進をお願いしたい。

〈決定事項〉

・ 12月17日に講習会を開催する。(定員満員)

・ 今年度はもう1回、2月頃に開催予定である。

議事3. 広報活動アンケート結果報告について

〈松村副会長より〉

* 対象者の61歳以上の会員52名に郵送でアンケートを配布した。

* 8月から9月8日までで回答者は12名、回収率は23%であった。

* 11名の方がホームページを閲覧したことがあり、閲覧内容は研修会の案内が一番多く、次に臨検タイムス、求人情報、行事予定、活動報告の順であった。

* 重複回答ではあるが、臨検タイムスはダイレクトメールの添付ファイルで閲覧する人が8名、他にはホームページで見る人と第三者から提供を受けるという人がいた。閲覧頻度は毎月見る方が7名、気が向いたら3名、ほとんど見ないが2名であった。

* 臨検タイムスの紙媒体での配布の中止については、電子媒体で支障がない方が9名、必要がない方

が1名、その他の意見として、「電子媒体でも良いが紙媒体だと毎回読んでいた」、「紙媒体配布から電子媒体へ変更され、ますます検査技師会離れが目立つように思われる。様々な事情があると思うが、施設に1部の配布を検討していただきたい。」という意見があった。

＜決定事項＞

- ・次回の臨検タイムスにアンケート結果を掲載する。
- ・ダイレクトメールで臨検タイムスを送付する際に、ホームページのURLを記載して送る。「臨検タイムスの最後のページに会員専用ページのIDとパスワードが記載されています」という案内文を記載する。

議事 4. 地域ニューリーダー育成研修会参加者について

＜宮川会長より＞

- ＊まだ、決定していない。申請締め切りは10月3日である。

＜意見交換＞

長町副会長より

- ＊参加者は30代から40代と言われているが、実際に参加していたのはもっと年齢層が高かったそうである。30代40代にこだわる必要はないのではないか。もう少し年齢層を上げて良いと思う。

＜決定事項＞

- ・参加者の選定には至らなかったため、学術部会で参加者を募ってみる。または会長が個別に打診する。

議事 5. 都道府県ニューリーダー育成研修会について 12/3（日）

＜太田事務局長より＞

- ＊昨年と同様の内容（タスクシフト／シェアの導入に向けて）で開催予定である。
- ＊午前中には日臨技講師による講演を予定している。

＜決定事項＞

- ・昨年と同様の内容で12月3日にWebで開催する。
- ・各施設から参加者を募っていただき日臨技システムから登録をお願いする。

議事 6. 公益事業について

①精度管理事業

＜長町副会長より＞

- ＊9月6日に専門委員会が開催され委託契約を締結した。（委託契約書はこちらで保管）
- ＊事業の計画書、予算書も提出済み。予算については今年度も昨年と同じ50万円の予算で書類を作成した。
- ＊申込書は既に発送済み。現在、申込書が届いている。
- ＊予算削減のため県より参加費の徴収について検討するように依頼があった。

＜決定事項＞

- ・精度管理調査に対して参加費を徴収するかどうかを検討することに関して承認された。

②全国「検査と健康展」

＜藤村理事より＞

- ＊11月11日（土）に香川県立保健医療大学の橄欖祭で開催する。前回は西讃中心であったため今回は東讃を中心にスタッフを集めたい。
- ＊内容については血圧、酸素飽和度、サルコペニア・フレイル、超音波体験、骨密度測定、脳血管年齢などを検討している。
- ＊展示は大学の同窓会が担当してくれる。

＜決定事項＞

- ・次回の11月11日の全国「検査と健康展」は東讃を中心にスタッフを募集する。

議事 7. 学術活動の承認について

＜決定事項＞

①新人研修会 10/1（日）

- ・前回と同様で10月1日9時から開催する。
- ・集合は8時とする。

②学術誌の発刊

- ・予定通り12月に発刊の予定。

③香川県担当中四国支部研修会開催について

- ・香川県担当（生物化学分析と一般）の研修会については予定通り開催される。

④その他

- ・研修会情報を臨検タイムスに掲載する場合は早めに原稿を提出する。(15日頃までに)

議事 8. 災害対策状についてについて

<決定事項>

- ・タイムスケジュールは未定であるが、まずは体制作りから進めていく。
- ・日臨技のマニュアルを参考に香臨技のマニュアル作りも引き続き進めていく。

議事 9. 香臨技創立 70 周年・法人設立 40 周年記念式典開催現状報告

<決定事項>

- ・10月中に実行委員会を開催する。
- ・実行委員会のメンバーは現三役と小原経理部長、高橋元会長、荒井前会長、十川理事、中澤理事、藤村理事、森本理事にお願いする。
- ・記念誌に関しては十川元会長から資料をお借りする。

議事 10. 香臨技顧問について

<宮川会長より>

- * 十川 元会長を推薦したい。十川元会長の政治的な人脈を今後の活動に利用させていただきたい
- * 定款に顧問の選定についての文言を追加したらどうかと、和田行政書士からの提案があった。
- * 定款を変更するには総会での審議が必要である

<決定事項>

- ・「定款 第 6 章 理事会（権限）第 31 条の第 4 項に、(4)必要に応じた顧問の選定及び解職」を追記することが承認された。
- ・来年度の総会で定款改訂が承認されたのち、十川元会長に顧問をお願いする。

議事 11. 個人情報保護規程の作成について

<宮川会長より>

- * 中四国支部情報共有会議で「個人情報保護規程を作っているか」県から問い合わせがあったとの報告があった。
- * 香臨技は個人情報保護規程は作成していない

<決定事項>

- ・個人情報保護規定を作成する。

議事 12. 施設責任者会議について

<宮川会長より>

- * 1月の理事会の時に開催するように準備したい。議題は70周年記念式典、次期役員および連盟のこと等を考えている

<決定事項>

- ・1月の理事会時に開催する。
- ・対面か Web かは後日検討する。

議事 13. 電子決済について

<宮川会長より>

- * 日臨技から電子決済についてのアンケートがあった。
- * 中四国では岡山県がパスマーケットという電子決済を使用している。
- * 香臨技も導入するかどうかを検討したい。

<決定事項>

- ・香臨技でも電子決済（パスマーケット）を導入するかどうかの検討を行う。

議事 14. 政策渉外調査施設登録について

<決定事項>

- ・中病院として滝宮総合病院に変わってさぬき市民病院を登録する。その他の3施設は変更なし。期間は令和5年10月から2年間

議事 15. 今後の日本臨床検査技師連盟活動について

<宮川会長より>

- * 先日の MTJ に長澤代表が「次の参議院選挙には候補者を出します」との記載があった、それに対して誰が出馬するのかという情報は全くない。

<決定事項>

- ・現状は様子見とする。

議事 16. 日臨技会長選挙について

<宮川会長より>

- * 選挙になった時は必ず投票をお願いしたい。

<決定事項>

- ・会長選挙では必ず投票するように会員に呼びかける。

議事 17. 作業療法士会より研修会のお知らせについて

<決定事項>

- ・作業療法士会からのお知らせをホームページに掲載する。

II. 報告事項

議事 1. 中四国支部医学検査学会、前日会議報告および中四国支部研修会について

<宮川会長より報告>

- * 中四国支部医学検査学会（愛媛県）は参加者約 1000 名であった。
- * 急遽、高村学会長から懇親会での日本酒提供依頼があり、金陵の超辛口を提供した。

<太田事務局長より報告>

- * 前日会議が 15 日に行われた。
- * タスクシフト/シェア、臨地実習指導者講習会の進捗状況の説明があり、タスクシフト/シェアに関しては多職種（診療放射線技師と臨床工学技師）と比べ修了者の割合が少ないことが指摘された。
- * 大学院生に対しては就職前にタスクシフト/シェア講習会を受講してほしいと言われた。
- * 支部学会の在り方について、意見交換がなされ、過去 2 年間の学会（一昨年岡山、昨年広島）は赤字だったと改めて報告があった。
- * 日臨技からの助成金の金額の増加、もしくはコンベンション費の日臨技支払いをお願いしたいという意見が大半であった。
- * スタッフの行動費や日当が日臨技の基準に合わせないといけないことと、会員が Web 開催に慣れ、現地参加しないことが赤字の要因の 1 つではないかとの意見があった。

議事 2. 賛助会員申込現状報告について

<太田事務局長より報告>

- * 現在の賛助会員の申し込み状況は前回から変わっていない。現在申し込み件数の総数が 31 社、広告 は A4 が 7 社、A4 の 1/2 が 1 社という状況。各施設に担当者が来たら声かけをお願いしたい。

議事 3. 入金および支出に関する報告について

<小原経理部長より報告>

- * 特にはないが、3 月から今月某までで会費や賛助会費、広告など全部含めて 720 万 4 千円の収入があった。
- * 税理士、行政書士、事務員の給与と会館の維持費などで 428 万ほど使用している。

議事 4. ホームページ掲載報告について

<小林広報部長より報告>

- * 基本的には日臨技や香川県や厚労省から届いた会員に周知する必要のあるものは、その都度掲載している。
- * 研修会に関しては掲載の判断は学術にお任せしたい。

議事 5. 地域包括システムケア学会演題発表 12/10（日）について

<長町副会長より報告>

- * 収録の締め切りは今週末で、提出予定。
- * 内容については精度管理に関すること。
- * 今回の精度管理調査申込時にアンケートをお願いしている。その結果報告も実施する。

議事 6. 日臨技理事会報告について

＜宮川会長より報告＞

- * 現在、臨床検査技師は、ケアマネージャーの受験資格はないため、受験資格の拡大を要望している。
- * 日臨技会館が老朽化と手狭になっている。先日の大雨で雨漏りがあった。ただし、今後会員が減少していく可能性があることを考え、今後の対応を考えなければならない。
- * 未来構想として臨床検査で社会を変えたいというコンセプトのもと、若手技師中心のWGが発足した。テーマは「〇〇×臨床検査技師」。
- * 医療職種として今は自ら稼ぐことができないので指導料等が取れる役割を創設したいという意向もある。

議事 7. 中四国支部開催 臨地実習指導者講習会報告 次回中四国支部担当開催日 令和6年3月3日(日)

＜宮川会長より報告＞

- * 1施設1名縛りが取れた後、募集開始後、その日のうちに満員になってしまうという現象が起きているようである。

議事 8. ピペットの「〇〇する検査技師」の写真の提供について

＜宮川会長より報告＞

- * 香川労災病院の高水理事から「血液製剤を準備する臨床検査技師」という題名で画像をいただいた。掲載の可否はワーキングで決定する。

議事 9. 法人・土地建物基本調査に参加(オンライン調査)について

＜宮川会長より報告＞

- * オンラインで調査に参加した。
- * 現在、一般法人の運営等に関するアンケートの協力依頼があり、協力する予定である。

議事 10. 山本直樹県議会議員弔電報告について

＜宮川会長より報告＞

- * 香川県立医療短期大学の設置にご尽力いただいた山本直樹県議会議員がお亡くなりになられた。弔電をお供えした。

議事 11. インボイス制度について

＜宮川会長より報告＞

- * 日臨技は登録業者のため日臨技支部研修会や支部学会、全国学会の開催県となる場合は請求書および領収書は日臨技の登録番号を記載した適格請求書や領収書を使用しなければならない。
- * 日臨技は講師が免税事業者の場合は、講師が納付すべき消費税を肩代わりすることになる。
- * 日臨技が主催の研修会等の受講者の参加費には消費税が含まれているという考えになる。日臨技主催の研修会であれば収支決算の時に参加費に消費税を考慮して計算しないといけない。

議事 12. 地域医療介護総合確保基金について

＜宮川会長より報告＞

- * 香川県自体が国に対し、地域医療介護総合確保基金の申請をしていないため、現状は難しい。

議事 13. 新潟県新役員について

＜宮川会長より報告＞

- * 新役員の報告があった。

議事 14. 事務所の wi-fi の変更について

＜事務員より報告＞

- * 事務所で使用している wi-fi の変更を行った。
- * 機器の本体と1年間100GBで25000円。1年後からは本体代金がなくなるので、年間100GBで7000円。今までは月7000円程度だったため、大幅な経費削減になった。

＜多田監事より報告＞

- * 今回購入したのはリチャージ wi-fi と言い、本体に100GBの通信料が付属しているものなので、どこでも使える。海外でも使える。ネット環境が必要な場合は会館外でも使用可能である。

議事 15. 会長印の事務局長管理について

＜宮川より報告＞

*会長印の管理は事務局長にお願いする。

令和5年9月26日

一般社団法人香川県臨床検査技師会 令和5年度第3回理事会において

議事録作成者	太田安彦
代表理事（会長）	宮川朱美 ㊞
監事	横内美和子 ㊞
監事	多田達史 ㊞

新（再）入会会員研修会に参加して

瀧川 愛笑（三豊総合病院 中央検査部）

いつの間にか暑い夏も終わり、各地で秋祭りの太鼓の音色が響く季節となりました。今年4月に三豊総合病院に入職し、新社会人としてのスタートを切りました。憧れていた職に就けた喜びはもちろん、新しい環境でバタバタと過ぎる日々の速さに自分の能力が追いついていないのかと少し焦りを感じることもあります。慣れないことばかりですが先輩方のアドバイスのおかげで、少しずつ業務に自信がもてるようになり、吸収の多い充実した日々を過ごしています。

2023年10月1日（日）香川県立保健医療大学において「令和5年度新（再）入会会員研修会」が開催されました。

研修会では、香川県臨床検査技師会・日本衛生検査技師会についての紹介、医療安全、精度管理事業や広報活動について詳しく紹介されました。後半では、各研究班班長による活動報告の紹介、最後に新（再）入会会員の紹介が行われました。

私は本技師会に入会していたものの、詳しい活動内容までは把握していませんでした。入職直後に一度、香川県臨床検査技師会が主催する「香川県医学検査学会」に参加させていただいたことがあります。県内の各施設の取り組み、症例発表等を通して知識・情報の共有がなされているのを目の当たりにして、県内が一つになってより良い臨床検査に繋がっているという姿に感銘を受けたのを覚えています。

このような学会の開催だけでなく、本臨床検査技師会がこれまでどのような取り組みをしてきたか、そしてこれからどのような動きになっていくかを動画も用いて詳しく紹介して頂き、大変理解しやすく、学びの多い研修となりました。

私は微生物検査に所属しており、今季開催される微生物研究班の勉強会にも参加する予定です。これからも積極的に参加し、知識の習得はもちろん、交流も深めながら横のつながりを大事にしていきたいと考えています。

臨床現場で働いて約半年が経過しました。毎日様々な患者背景のある検体と向き合い、患者様の健康を支えているという臨床検査技師としての重役を日々痛感しています。

私の目標は、シンプルですが沢山の人の頼られる人材になることです。まだまだ未熟ですが、1年目ということ言い訳にたくはありません。患者様が最良の治療を受けられるように、患者様を支える医療チームの1人、香川県臨床検査技師会の一員として、この職業に誇りをもって常に自己研鑽し続けていきたいです。



（新人研修）

健康フェスタ in フジグラン丸亀が開催されました



(健康フェスタ)

藤村 一成 (三豊総合病院 中央検査部)

令和5年9月24日(日曜日)10時より、フジグラン丸亀にて、健康フェスタ in フジグラン丸亀(検査と健康展)を開催しました。フジグラン丸亀の開催は2回目となり今回は別ブースで理学療法士会、作業療法士会の健康フェスタも同時に開催され、私たち臨床検査技師会からは両上腕血圧測定、酸素飽和度測定、骨密度測定、超音波体験、資料配布などを行いました。前回の経験もありスムーズな進行はできましたが、相変わらずスタッフ集めに関しては、人が集まらず苦労しました。理事の皆様が無理を言って23名の会員の方々を確保でき何とか開催することができました。初めて参加された方も多く、交流を持たれたことは嬉しい限りです。さて、肝心の健康フェスタですが、前回同様、朝は来場者が少なく心配はしましたが、昼過ぎになると急に多く来られたような気がします。おかげさまで120名の来場者があり安堵いたしました。意見としては、「無料で検査ができるから来ました。」「臨床検査技師に興味がある。」「健康に興味がある。」などのお言葉を耳にしました。理由は様々ありますが地域の生の声が聞けたことはやって見ないとわからない事でした。反省点として、時間待ちがある時にスムーズに進行できるようにする、開催するにあたり広告等にて宣伝活動を行う、チラシにもインパクトをつけて出すなど色々改善する必要があるかと思いました。また、「臨床検査技師は全く知らない。」と言う方もいました。臨床検査技師の存在感はコロナ禍の状況化で多少上がったとはいえ、医師、看護師、薬剤師に比べ認知度が低いのが現状であり、もっとアピール活動が必要です。臨床検査技師の認知度を少しでも上げるためにどのような事をしたらよいのでしょうか？同時開催であった理学療法士会、作業療法士会では他の会場でもこのよう企画をしているようで、そこで多くの地域の人々と触れ合いそしてアピール活動をしているそうです。そのような地道な活動を我々臨床検査技師は、見習う必要があります。また、検査と健康展は自分一人では到底する事ができません。さらには、同じ人ばかりしていると香臨技活動としては一体感は生まれないと思います。私は、こういうイベント活動を通して、人脈を広げていき、若手育成、教育に繋がると考えます。今度、11月11日(土)にも香川県立保健医療大学の学祭で検査と健康展を行います。皆様、参加してみても如何でしょうか？

主催者側として、いつも労いの言葉が唯一の支えになっております。また、開催にあたりご協力いただきました香臨技会員の皆様、フジグラン丸亀の職場の皆様、機械をお貸しいただきました機器メーカーの皆様、お陰様で何とか無事終える事ができました、改めてお礼申し上げます。

《研修会のご案内》

① 2023年度第3回病理細胞診研究班研修会

連絡責任者：筒井 真人 ☎087-831-7101

日 時：令和5年11月19日（日）14:00～16:00

場 所：四国細胞病理センター

内 容：細胞検査士2次試験対策

講師1：筒井 真人（高松赤十字病院）

講師2：虫本 一平（三豊総合病院）

申込み：日臨技HPより事前参加登録をお願いします。

事前参加登録受付期間：2023年11月1日～2023年11月17日

参加資格：日臨技会員（県内会員に限る）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点 備考：

② 令和5年度第1回遺伝子・染色体検査研究班研修会

連絡責任者：山川 けいこ ☎087-898-5111

日 時：令和5年11月25日（土）14:00～16:00（予定）

場 所：香川大学医学部 スキルラボラトリー3Fアドバンスルーム

内 容：テーマ「知っておきたい遺伝子検査の基礎－核酸精製とNGSを知ろう」

①次世代シーケンスの基礎とパネル検査の今後（仮）

北野 敦史（イルミナ株式会社 営業本部技術営業部 オンコロジースペシャリスト）

②NGSの為の核酸精製の原理（仮）

未定（株式会社キアゲン ライフサイエンス営業部）

申込み：人数把握のため日臨技HPより事前参加登録をお願いします。

登録期間を過ぎても受け付けますので、当日飛び入り参加可能です。

受付期間：令和5年11月1日（水）～令和5年11月20日（月）

参加資格：日臨技会員

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

備 考：研修会詳細は日臨技HP参加登録サイトに添付しています。

研修会当日は日臨技会員証、駐車券をお持ちください。

③ 令和5年度日臨技中四国支部 染色体・遺伝子部門 web 研修会

連絡責任者：山川 けいこ ☎087-891-2111

日 時：令和5年12月2日（土）13:00～17:00

テーマ：「遺伝子検査の未来を語る」

内 容：講演 遺伝子検査における核酸解析の「真価」と「深化」と「進化」

シンポジウム 遺伝子検査～導入から将来像～

特別講演 感染症内科医から見た遺伝子検査への期待

開催形式：WEB 視聴形式

参加費：日臨技会員の方：1000円

生涯教育研修：専門20点

申込先：日臨技HPより事前参加登録

申込期限：令和5年10月1日～令和5年11月17日

定 員：100名

備 考：プログラム、申込の詳細は日臨技HPをご確認ください。

④ 令和5年度日臨技中四国支部研修会（輸血細胞治療部門研修会）

連絡責任者：渡邊 良 ☎0877-23-3111（内線3206）

日 時：令和5年12月3日（日）13:00～16:40

場 所：Zoom ウェビナーによる Web 開催

募集人数：500人（先着順）

参加費：日臨技会員 1,000円 日臨技非会員 3,000円

テーマ：「輸血関連の今知りたい検査と新しい話題」

講演①「直接抗グロブリン試験・温式自己抗体について」

講師：信州大学医学部附属病院 輸血部 小嶋 俊介 先生

講義②「輸血検査に影響を与える抗体医薬品 抗 CD47 抗体の最新の知見」

講師：(株)イムコア 学術企画部 丸本 宗正 先生

講演③「輸血後感染症の現状と課題（細菌感染症を中心に）」

講師：日本赤十字社血液事業本部 技術部 安全管理課長 日野 郁生 先生

講演④「赤血球型検査 GL 改訂 4 版の改訂のポイント」

講師：東邦大学医療センター大森病院 輸血部 奥田 誠 先生

申込受付期間：2023/10/16～2023/11/17（参加費振り込みを含む）

申 込 方 法：日臨技 HP 内 JAMT 会員専用ページからの事前登録

備 考：その他詳細は日臨技 HP、香臨技 HP をご確認ください。

⑤ 2023 年度 第 2 回香川県微生物検査研究班研修会

連絡責任者：藤川 栄吏 ☎0877-23-3111（内線3210）

日 時：令和5年12月9日（土）13:00～16:00

場 所：高松赤十字病院

予定内容：①グラム染色を見直そう

・染色の基礎

島津ダイアクノスティクス株式会社

・鏡検法と症例

香川大学医学部附属病院 西村 恵子 先生

②結核の現状と IGRA 検査

参加費：日臨技会員の方：200円

生涯教育研修：専門 20点

申込先：日臨技 HP より事前参加登録

申込期限：後日ホームページ上で案内予定

⑥ 2023 年度 血液検査研究班研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎087-811-3333

日 時：令和5年12月9日（土）14:00～16:00

場 所：サンメッセ香川 中会議室

内 容：①資格取得体験談

「二級臨床検査士（血液学）」

合田 佳純（三豊総合病院）

「認定血液検査技師」

田村 元幹（高松市立みんなの病院）

②合成基質法による凝固因子活性検査（仮） 永井 裕雄（シスメックス株式会社）

③症例報告

申込み：必要ありません

参加費：200円 生涯教育研修：専門 20点

⑦ 2023 年度 第 2 回香臨技輸血検査研修会

連絡責任者：渡邊 良 ☎ 0877 - 23 - 3111 (内線 3206)

日 時：令和 5 年 12 月 10 日 (日) 9:30 ~ 11:30

開催場所：香川労災病院 管理棟 3F 第 1 第 2 会議室

内 容：テーマ「特殊な血液製剤について知ろう!!」

①「特殊血液製剤について (仮)」

香川県赤十字血液センター 学術情報・供給課 学術係 中山千智先生

②各医療機関における使用症例

★研修会后、意見交換 (希望者のみ自由参加)

参加資格：日臨技会員 (県内会員に限る)

参加費：200 円

事前参加登録受付期間：2023/11/1 ~ 2023/12/1

(参加人数把握のため日臨技 HP から事前参加登録をお願いします。)

* 当日飛び入り参加も可能です。

生涯教育研修：専門 20 点 (当日は必ず日臨技会員証をお持ちください)

第 4 回 香川県 タスク・シフト/シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会 (実技研修) のご案内

日 時：令和 5 年 12 月 17 日 (日) 9:00 ~ 16:50 (受付時間 8:30 ~ 9:00)

場 所：香川県立保健医療大学

募集人員：60 名

参加資格：臨床検査技師免許取得者、日臨技 Web 研修システムによる基礎講習の履修者

受 講 料：会員 15,000 円 非会員 40,000 円 (資料代含む)

※ 申し込み後の受講料の返金は致しません。

申込期限：令和 5 年 12 月 4 日 (月)

問合せ先：〒 143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当

TEL: 03-5767-5541 (直通) E-mail: task-shift2@jamt.or.jp

香川県立保健医療大学 第 22 回大学祭「^{かんらんさい}橄欖祭」 (検査と健康展のスタッフ募集中)

日 時：令和 5 年 11 月 11 日 (日) 9 時 ~ 14 時 (手伝っていただく予定時間)

場 所：〒 761-0123 香川県立保健医療大学 201 講義室 高松市牟礼町原 281 番地 1

内 容：超音波体験、両上肢血圧測定、酸素飽和度、骨密度測定、握力測定、資料配布など

参加締切：令和 5 年 11 月 3 日 (金) 延長しました。

三豊総合病院 中央検査部 藤村一成

TEL 0875-52-3366(内線 2406)

E-mail m-kensa@mitoyo-hosp.jp

MTJ メールニュース会員受付（登録無料）について

MTJ メールニュースは、「株式会社じほう」より臨床検査に関わる最新の業界動向を毎週無料でお届けする臨床検査技師のためのメールニュースです。

香臨技ホームページにも掲載していますので、ぜひ会員登録をしてご活用ください。

検査業界の最新トピックスを無料でお届けします



登録無料

お申し込み画面へアクセスできます▶

メールニュース 会員受付中!

・ 編集後記 ・

最近ようやく少し涼しくなり、過ごしやすい時期になったので、伊吹島に赴き、夜釣りを堪能してきました。釣果はアジが100匹ぐらいでしたが、全部小さなアジばかりでした。アジには豆アジと小アジという二つの呼び名があります。10cmを超えてくると小アジと言われ、骨が固くなり調理に時間がかかります。今回釣れたのは小アジであり、さらに数も多かったことから魚を捌くのにかなり時間を要しました。それでも新鮮味であったので美味しくいただくことができました。ちなみにオススメはアジのナメロウです。小アジだからといって馬鹿にははいけませんね。味(アジ)は最高です。

藤村 一成 (三豊総合病院 中央検査部)



～ 香臨技 求人情報 ～

現在、株式会社 四国細胞病理センター、香川大学医学部附属病院 病理部、木太三宅病院、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：森本 弘美 (香川県立中央病院 中央検査部)
アドレス：morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365
医療法人社団 海部医院
小林 万代まで
Eメール：kobaboobu0128@hotmail.co.jp
TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

* 香臨技ホームページ「会員専用」
(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻 339 号

【発行所】
一般社団法人 香川県臨床検査技師会
〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13
事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 藤村 一成 太田 安彦
【編集委員】 藤重 和久 森西 起也 森本 弘美
【製作】 有限会社シーアンドシーイシハラ
令和5年10月発行